



青南だより

令和6年6月号
港区立青南幼稚園
園長 石川 典子

先月は、親子活動や保育参観へのご参加、ありがとうございました。保護者の方と一緒に、また温かく見守っていただきながら、子どもたちは伸び伸びと心と体を動かして保護者の方や友達・先生と一緒に活動することを楽しんでいました。6月はまつりや年長児のみなと科学館への親子遠足、プールや水遊びの開始など、子どもたちがワクワクしながら取り組む活動が楽しみです。



青南幼稚園 教員は、研究・研鑽に励み、学びを実践に生かし、質の高い教育を行っています。

園内研究 テーマ 「 みんなで育てる、みんなが育つ - 共に歩む子育て - 」

保護者とともに子育てを進めるために、親子活動の充実や研究の継続・深化を図る。

(港区立青南幼稚園 経営方針 令和6年度の取組の重点より)



さて、以前、講師の先生から子育てに関する話を聞きました。一部を紹介します。

- 幼児期に大切なことは、体を動かすこと、遊びや生活の中で頭を使うこと、親子で会話を楽しむこと。
- こどもの苦手なところを気にして、無理にさせようとしたり、注意が多くなったりすると、子どもの意欲や自信がなくなる。子どもの好きなこと得意なことを褒めて伸ばすと自信をもち、あきらめずに挑戦し、苦手なことも少しずつできるようになっていく。
- 幼児期は保護者がたっぴりと関わる時期。かまってほしい時期にかまってもらえなかった子は、後々にいろいろな問題が出てくる。
- ケンカや擦り傷などのケガをすることは、成長にとって必要なこと。
- 知識を詰め込んでもやがて追い抜かれてしまう。大事なことは主体性を育むこと。すると小学校以降に主体的に自ら学習し、学ぶことを楽しみながらぐんぐん成長していく。

生涯の中で幼児期はごくわずかな期間ですが、この間の過ごし方がお子さんの人格形成やその後の人生に大きく影響をします。『三つ子の魂百まで』です。子どもたちがみずみずしい感性の下、多様に感じたり考えたりしていること、行動や言葉を肯定的に受け止め、一緒に楽しんだり、面白がったり、行動したりして、主体性や自己肯定感、感性などの内面を育みましょう。子どもの成長には時間が掛かりますが、必ず伸びます。保護者の方は焦らずに、お子さんのペースを受け入れ、穏やかな気持ちで見守り関わるのが大切です。

